

第6次青梅市総合長期計画実施計画

令和元年度取組状況報告書

みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち 青梅

— ゆめ ・ うめ ・ おうめ —

青 梅 市

目次

本報告書について	1
第1章 安全で快適に暮らせるまち	2
第2章 自然と共生し環境にやさしいまち	12
第3章 次代を担う子どもをみんなで育むまち	18
第4章 文化・交流活動がいきづくまち	26
第5章 みんなが元気で健康なまち	30
第6章 福祉が充実したまち	34
第7章 活気ある産業で雇用が生まれるまち	40
第8章 都市基盤が整う魅力あるまち	48
第9章 みんなが参画し協働するまち	56
第10章 持続的な行財政運営ができるまち	60
重要業績評価指標(KPI)の進ちょく状況	64
施策連動型のしくみ	66

本報告書について

第6次青梅市総合長期計画の実施計画は、総合長期計画の基本計画に掲げた諸施策にもとづいて取り組む主要事業について、3か年の年次計画を明らかにし、毎年度の予算編成や事務執行の指針とするものです。

本報告書では、実施計画に掲げた事業（青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける事業も含む）について、令和元年度の取組状況をまとめています。

なお、第6次青梅市総合長期計画で掲げたまちづくりの指標および青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した重要業績評価指標（KPI）についても、把握できる最新の値にもとづいて、とりまとめています。

各事業の取組状況 記載例

・令和元年度事業計画の取組状況について、簡潔にまとめて記載。
(事業費を千円単位で記載)

・令和元年度事業の成果について、簡潔にまとめて記載。

事業番号	1-3	事業名	避難所機能の強化		
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料、飲料水の購入 ・応援協定の拡充 		備蓄食料、飲料水を購入するとともに、民間企業等との災害時応援協定（2件）を締結した。 (5,737千円)		賞味期限直前の食料を各地区防災訓練で活用することで、防災意識の向上と備蓄の重要性を周知できた。また、民間企業等との災害時の応援協定（2件）を追加し、災害対応の充実を図った。	

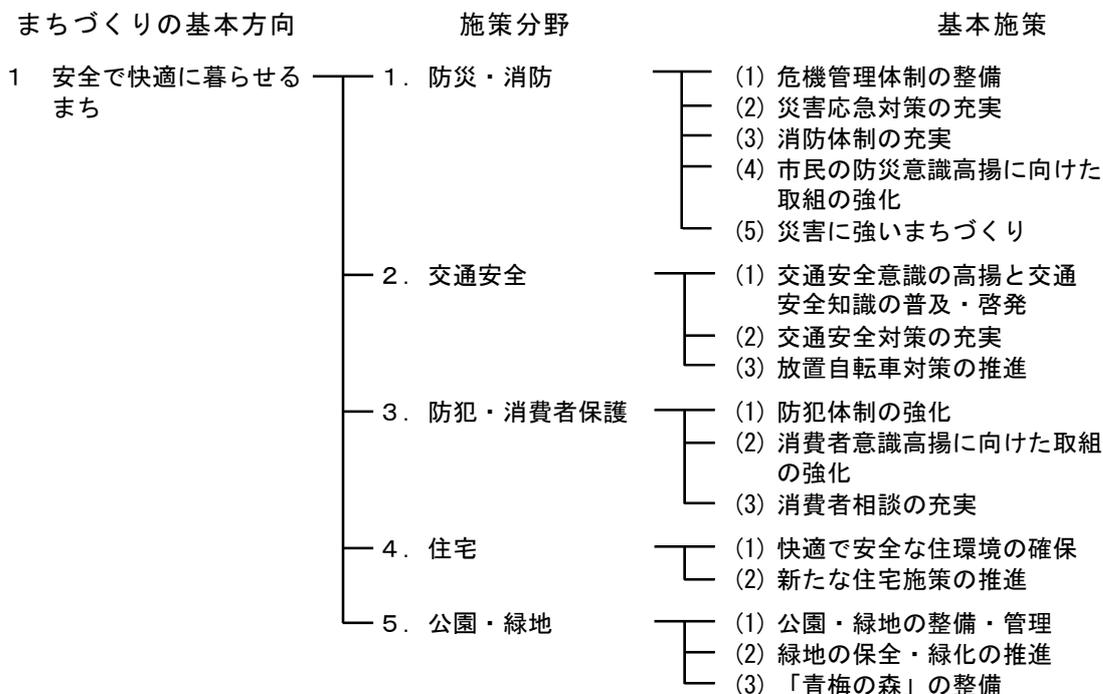
※事業概要、事業の推進目標、事業費は別冊「第6次青梅市総合長期計画実施計画（平成31年度～平成33年度）」（平成31年3月作成）で確認できます。

まちづくりの指標・重要業績評価指標（KPI） 記載例

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
総合防災訓練・各地区防災訓練の参加者数	人	5,209	4,419	4,960	6,200
		H14年度	H24年度	R1年度	R4年度

第1章 安全で快適に暮らせるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
総合防災訓練・各地区防災訓練の参加者数	人	5,209	4,419	4,960	6,200
		H14年度	H24年度	R1年度	R4年度
計画期間中における土砂災害対応訓練・水防訓練の延べ参加者数	人	—	629	6,202	5,300
		—	H24	H25～R1	H25～R4
家具転倒防止器具等助成事業にかかる支給率	%	2.36	13.84	15.67	20.00
		H22.3.31	H25.3.31	R2.3.31	R2.3.31
火災発生件数	件	68	63	27	0
		H14年度	H24年度	R1年度	R4年度
交通事故による年間の死傷者数	人	1,209	791	391	半減
		H14	H24	R1	R4
みどり率	%	80.9	80.3	79.6	80.3
		H15	H20	H30	R5

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 防災・消防			
1-1	青梅市地域防災計画の修正	(1)	
1-2	業務継続計画の推進	(1)	
1-3	避難所機能の強化	(2)	
1-4	消防団の充実	(3)	●
1-5	消防機材等の整備	(3)	
1-6	市民防災ハンドブックの活用推進	(4)	
1-7	土砂災害対策の充実	(4)	
1-8	地区防災計画の推進	(4)	●
1-9	避難行動要支援者支援対策の推進	(4)	
1-10	防災リーダーの育成	(4)	●
1-11	家具転倒防止器具等支給取付事業	(4)	
1-12	防災行政無線の整備	(5)	
2. 交通安全			
1-13	青梅交通安全協会の活動支援	(1)	
3. 防犯・消費者保護			
1-14	安全・安心な学校づくりの推進事業	(1)	●
1-15	消費者保護の充実	(3)	
4. 住宅			
1-16	市営住宅長寿命化計画の推進	(1)	
1-17	課題のある市営住宅の撤去事業	(1)	
1-18	木造戸建住宅耐震化事業	(1)	
1-19	緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業	(1)	
1-20	新たな住宅施策の推進	(2)	●
1-21	空家対策事業	(2)	●
5. 公園・緑地			
1-22	公園施設長寿命化計画の推進	(1)	
1-23	釜の淵緑地の整備	(1)	
1-24	緑の基本計画の推進	(2)	
1-25	青梅の森事業計画の推進	(3)	

事業番号	1-1	事業名	青梅市地域防災計画の修正
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の推進・検証（必要に応じて修正） 	<p>新たに締結した応援協定や組織改正を反映した地域防災計画の修正を行い、関係機関等へ配布した。また、ホームページで修正した計画を公開した。</p> <p>(0円)</p>	<p>最新の情報への地域防災計画の修正を行い、計画の実効性の確保を図った。</p>	

事業番号	1-2	事業名	業務継続計画の推進
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画にもとづく訓練、検証 ・計画の見直し、修正 	<p>業務継続計画を検証し、本市における現状を踏まえた修正案の検討を実施した。</p> <p>(0円)</p>	<p>初動体制や業務内容等の確認、検証を進めた。</p>	

事業番号	1-3	事業名	避難所機能の強化
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料、飲料水の購入 ・応援協定の拡充 	<p>備蓄食料、飲料水を購入するとともに、民間企業等との災害時応援協定（2件）を締結した。</p> <p>(5,737千円)</p>	<p>賞味期限直前の食料を各地区防災訓練で活用することで、防災意識の向上と備蓄の重要性を周知できた。また、民間企業等との災害時の応援協定（2件）を追加し、災害対応の充実を図った。</p>	

事業番号	1-4	事業名	消防団の充実
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・女性団員、機能別団員、協力事業所制度の運用 ・被服購入（新入団員用） ・健康診断の実施 	<p>女性団員および機能別団員制度の運用ならびに協力事業所制度の運用や健康診断を実施した。また、団員用の被服の購入を行った。</p> <p>(2,893千円)</p>	<p>女性団員の防災教育による防災意識向上と機能別団員による消防力の維持を図った。協力事業所制度による、消防団への理解啓発を図るとともに、健康診断により団員の健康増進を図った。</p>	

事業番号	1-5	事業名	消防機材等の整備	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・小型動力ポンプの更新 ・消防器具置場の改修および修繕 ・デジタル無線機賃貸借 		老朽化した小型動力ポンプ2台を更新した。 消防器具置場の修繕を行った。 (1-2・2-1・3-1・6-3・8-2) 消防団デジタル無線を賃貸借した。 (7,843千円)		第5分団第4部に配備するポンプ2台を更新し、消防力の向上を図ったほか、デジタル無線を活用し、円滑な団活動の運用を図った。

事業番号	1-6	事業名	市民防災ハンドブックの活用推進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・市民防災ハンドブックの更新および周知・活用 ・転入者への配付 		市民防災ハンドブックの更新を行い、全戸配布した。また、転入者への配布を行った。 (5,543千円)		内容を最新のものに更新し、改めて全戸配布を行うとともに、転入者に配布することにより、市民の防災意識の向上を図った。

事業番号	1-7	事業名	土砂災害対策の充実	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害対応訓練の実施 		河辺地区において土砂災害対応訓練を実施し、災害対策本部運営訓練の他、自主避難訓練や要配慮者安否確認訓練を実施した。 (93千円)		要配慮者利用施設や自治会等、総勢340名の方が参加し、訓練を通して情報連絡体制の確認等とともに、市民の防災意識を高めた。

事業番号	1-8	事業名	地区防災計画の推進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画にもとづく訓練、検証 ・計画の見直し、修正 		市内各地区において地区防災計画にもとづく訓練を実施した。 (0円)		市内各地区において、地区防災計画にもとづく訓練を行い、防災意識の向上を図った。

事業番号	1-9	事業名	避難行動要支援者支援対策の推進
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 登録者の抽出 同意確認 協力依頼 支援体制構築 	避難行動要支援対象者を抽出し、対象者の同意確認を行うとともに名簿を作成し、避難支援等関係者へ提供した。 (2,030千円)	各避難支援等関係者で名簿情報の共有を図った。	

事業番号	1-10	事業名	防災リーダーの育成
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 防災リーダーの育成 防災リーダー講習会の実施 	各自主防災組織（市内11組織）における防災リーダーの育成を目的として防災士の養成と講習会を実施した。 (313千円)	5名の方が防災士の資格を取得し、11月に実施した防災リーダー講習会には防災士13名、自主防災組織の構成員21名、計34名が参加、防災リーダーの育成と地域防災力の強化を図った。	

事業番号	1-11	事業名	家具転倒防止器具等支給取付事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 器具等の支給および取付け 	市内全域の高齢者、障害者世帯および立川断層帯近傍区域と立川断層帯地震の際に、震度6強以上が想定される区域の世帯を対象として、家具転倒防止器具等の支給および取付を実施した。 (1,403千円)	82世帯に家具転倒防止器具等の支給および取付を実施し、震災時における家具転倒の抑制に寄与した。（支給率15.67%）	

事業番号	1-12	事業名	防災行政無線の整備
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 個別簡易受信機の導入（難聴地区対策） 維持管理 	土砂災害警戒区域内の難聴地区対策として、簡易受信機システムを整備した。 (1,427千円)	簡易受信機システムによる受信環境を梅郷地区に整備した。貸与トランシーバーで防災行政無線の内容を聴くことが可能となった。	

事業番号	1-13	事業名	青梅交通安全協会の活動支援
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識の普及、啓発 街頭指導等への支援 		秋の全国交通安全運動期間中に、青梅交通安全協会、青梅警察署とともに、交通安全講習会等を開催するとともに、街頭指導を実施した。また、交通安全の日を設け、定期的に街頭指導を実施した。（8,973千円）	交通安全講習会には、延べ307人。交通安全のつどいには、400人の参加があった。街頭指導では、延べ750人の交通安全協会員が指導にあたり、交通安全意識の普及、啓発を行うことができた。

事業番号	1-14	事業名	安全・安心な学校づくりの推進事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 子ども110番の家の整備 防犯ブザーの給付 		子ども110番の家を継続実施した。新小学1年児童へ防犯ブザー等の給付、自転車通学生徒ヘルメットを給付、青色防犯パトロールによる防犯パトロールを実施した。通学路防犯カメラを増設した。（12,027千円）	子ども110番の家の登録件数が増加し、犯罪抑止が図られた。新小学1年児童等への各種給付により登下校時の安全対策が図られた。防犯カメラの増設により、安全・安心の強化が図れた。

事業番号	1-15	事業名	消費者保護の充実
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 消費者相談の実施 消費生活相談員のスキルアップ 特殊詐欺等消費者被害防止 		消費者相談の実施および消費生活相談員がスキルアップのため、各種研修へ参加した。また、自動通話録音機を111台貸与等、消費者被害の防止を図った。（3,550千円）	消費生活相談員の補充および研修への参加により、相談体制の充実および相談員スキルアップを図った。啓発チラシ等の配布や自動通話録音機の貸与により、消費者被害防止につなげた。

事業番号	1-16	事業名	市営住宅長寿命化計画の推進
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 河辺第1・2住宅（外壁・屋上防水・設備改修工事） 		河辺第1・2住宅の二方向避難、外壁、屋上防水、電気設備、排水設備、ガス配管切り回しに関する改修工事を実施した。（201,130千円）	改修工事により、安全な避難経路を確保した。また、住宅の機能、耐久性および居住性が向上した。

事業番号	1-17	事業名	課題のある市営住宅の撤去事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・居住者との交渉 ・4戸の移転 ・用地測量 		用途廃止住宅居住者 10 世帯と交渉を行って転居を促したが、移転した世帯はなかったため、測量等も実施しなかった。 (0 円)	令和元年度の下半期に交渉を重点的に実施し、都営住宅等のあっせんも行ったため、移転先の選択肢を増やせた。これにより 1 世帯が、他の市営住宅へ入居予定となった。

事業番号	1-18	事業名	木造戸建住宅耐震化事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断補助 10件 ・耐震改修補助 5件 		木造住宅の耐震化や補助制度について広報等で周知を図り、耐震診断 1 件、耐震改修 1 件に対し補助金を交付した。 (575 千円)	木造戸建住宅の耐震化を図ることにより安全性の向上に貢献した。

事業番号	1-19	事業名	緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・耐震設計補助 2件 		東京都が指定する特定緊急輸送道路沿道建築物の所有者に対し、耐震化への説明・啓発等を行い、主に耐震設計予定者（2 人）と対応し、結果として耐震設計補助金 1 件の交付を行った。（1,075 千円）	市内にある特定緊急輸送道路沿道建築物の未耐震化物件数は 18 件のまま変更ない状況であったが、当該物件の所有者には事業説明等を継続して行った。

事業番号	1-20	事業名	新たな住宅施策の推進
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・関係者による情報交換・協議等 ・住宅マスタープランの策定 		住宅施策推進協議会を4回開催し、住宅マスタープランにもとづく新たな施策について協議した。住宅なんでも相談会、定例住宅相談会を計12回開催した。令和2年度からの住宅マスタープランを策定した。（4,560千円）	住宅施策の現状における課題を見出すことができた。各種相談会の件数は若干減少したが市民の問題解決の一端を担うことができた。昨年度から検討中の住宅マスタープランが完成した。

事業番号	1-21	事業名	空家対策事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 空家バンク促進 改修補助の実施 	<p>空家等対策計画にもとづき、空家対策を実施した。空家バンクを促進した結果、新規の登録件数が1件追加、成約件数1件となった。空家等活用支援事業は同時に耐震改修補助も利用できるよう改正した。（187千円）</p>		<p>管理不全な空家の所有者に対する措置を行い、特定空家の解消に向けて前進した。空家バンクへの新規登録および成約があり、空家の活用に向けて貢献した。</p>

事業番号	1-22	事業名	公園施設長寿命化計画の推進
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の改築等 	<p>公園施設長寿命化計画にもとづき、老朽化した公園施設の更新および修繕等を実施した。新田山公園ほか2公園の一部更新(3基)、スプリング遊具等の交換、遊具施設の塗装を行った。（16,619千円）</p>		<p>公園施設長寿命化計画にもとづき、利用者ニーズを考慮した遊具の更新・整備等を実施した。利用者に対する安全性の確保と、美観の保全・向上による快適な空間の提供など、環境の改善を図った。</p>

事業番号	1-23	事業名	釜の淵緑地の整備
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 整備計画の検討 	<p>青梅市公共施設等総合管理計画の進捗状況との整合を考慮しつつ、市内での調整を図った。（0円）</p>		<p>整備計画の検討に向け、市内での調整を図り、当該整備にかかる方向性を整理した。</p>

事業番号	1-24	事業名	緑の基本計画の推進
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 市内連絡委員会の開催 計画の推進および進行管理 	<p>計画に即するよう「青梅市みどりの連絡委員会」設置要綱にもとづき、連絡委員会を開催し、計画の推進および進行管理を行った。（0円）</p>		<p>取組状況調査、みどりに関する市内所有データを収集し、連絡委員会を開催した。それぞれの計画に対する進捗状況や、問題点の認識を深め、今後の計画推進に役立てることができた。</p>

事業番号	1-25	事業名	青梅の森事業計画の推進
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・間伐 ・生物多様性保全 ・運営協議会開催 ・斜面保護工事 		<p>青梅の森事業計画にもとづき、外来種対策や支障木の伐採等の保全事業、斜面保護工事および景観整理伐採の整備事業に取り組んだ他、青梅の森運営協議会等を開催した。</p> <p style="text-align: center;">(52,522千円)</p>	<p>保全面では、自然環境調査、外来種対策等を実施し青梅の森の自然環境の保全に努めた。整備面では、危険な斜面地に対する対策工事等を行うことで、青梅の森周辺の安全の確保を図った。</p>

第2章 自然と共生し環境にやさしいまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
森林再生事業による間伐と 枝打ちの促進	ha	80.70	861.43	1,399.32	1,855
		H15.3.31	H25.3.31	R2.3.31	R5.3.31
多摩川の水質汚濁度 (BOD※)	mg/l	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.6	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5
		H14年度	H24年度	R1年度	R4年度
1人1日当たりの燃やすご み排出量	g	593	567	559	510
		H15.3.31	H25.3.31	R2.3.31	R5.3.31
公共施設による太陽光発電 能力	kW	30	40	291.64	1,000
		H22.7	H25.3.31	R2.3.31	R5.3.31

※BODとは、生物化学的酸素要求量(Biochemical Oxygen Demand)のことで、微生物が、水中の有機物を二酸化炭素や水などに分解するため必要とする酸素の量です。河川の汚濁の度合いを示す代表的な数値であり、生活環境の保全に関する環境基準では、御岳橋で1mg/l以下、多摩川橋で2mg/l以下とされています。

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 森林			
2-1	森林整備事業	(1)	●
2-2	森林ボランティア育成事業	(2)	●
2. 水辺環境			
2-3	親水施設整備事業	(1)	
2-4	親水事業の推進	(2)	
3. 生活環境			
2-5	飼い主のいない猫対策事業	(1)	
2-6	環境基本計画の推進	(1)	
2-7	青梅市墓地公園の合葬式墓地造成事業	(3)	
4. 循環型社会			
2-8	生ごみ堆肥化推進事業	(1)	
2-9	ごみの排出抑制と資源化推進事業	(1)	
2-10	ごみ減量講座と施設見学会事業	(1)	
2-11	リサイクルセンター改良事業	【新規】 (2)	
2-12	新エネルギー利用等促進事業	(3)	

事業番号	2-1	事業名	森林整備事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・間伐および枝打ちの実施 		間伐 69.61ha、枝打ち 10.32ha を実施した。 (74,371 千円)		スギ、ヒノキの人工林に対して、3割の間伐を実施するとともに、すでに本事業で間伐を行った森林を対象に、枝打ちを行うことで適切な森林整備を進めた。

事業番号	2-2	事業名	森林ボランティア育成事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・第9期講座の2年目として応用編を行う。 		第9期森林ボランティア育成講座の2年目として5回の講座を実施した。 (994 千円)		第9期講座の2年目として、座学、下刈り、間伐、炭焼き、枝打ち等を実施し、ボランティアの活動による森林整備を図ることができた。

事業番号	2-3	事業名	親水施設整備事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・利活用の検討 ・基本構想等の検討 		関係課において親水施設整備検討の方向性、研究等を継続して行った。 (0 円)		釜の淵公園水泳場周辺の利活用について関係課と協力し検討を行うことで、共通認識を図ることができた。

事業番号	2-4	事業名	親水事業の推進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・体験型および学習型事業の実施 		親水事業を6回開催した。 (933 千円)		様々な自然体験学習を実施するとともに、川で安全に活動するための学習も実施し、川と親しむ機会づくりを促進した。6事業に275名が参加した。

事業番号	2-5	事業名	飼い主のいない猫対策事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 猫対策事業の補助金交付 協働での里親会 無料不妊手術事業参加 	協働による里親会や動物愛護週間に合わせて講演会等のイベントを実施するとともに、飼い主のいない猫対策を実施しているボランティア団体に対し、補助金を交付した。 (214 千円)		市民団体と協働の里親会、動物愛護週間イベント in おうめ等の実施や、さくらねこ無料不妊手術事業への参加、猫の譲渡事業を行う市民団体を支援し、飼い主のいない猫対策事業を推進できた。

事業番号	2-6	事業名	環境基本計画の推進
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 環境基本計画の推進 生物多様性地域戦略の推進 	計画にもとづく各種施策を推進するとともに、環境審議会、環境連絡会を開催した。また、生物多様性地域戦略にもとづき、外来種等の調査および対策を実施した。 (1,715 千円)		第2次環境基本計画の重点アクションプランを中心に施策を推進し、環境審議会、環境連絡会を開催し、その点検評価を実施した。また、外来種等の調査および駆除の対策を実施した。

事業番号	2-7	事業名	青梅市墓地公園の合葬式墓地造成事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 青梅市墓地公園に樹林墓地等を整備 	樹林墓地、広場、駐車場等の整備を行った。 (21,038 千円)		樹林墓地、広場、駐車場等の整備工事を実施し、令和元年9月に完成した。 また、令和元年10月に公募を実施し、令和2年1月に供用を開始し、109名に使用を許可した。

事業番号	2-8	事業名	生ごみたい肥化推進事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 講習会の実施 ダンボールコンポストの啓発 	生ごみたい肥化講習会を開催し、生ごみたい肥化の普及・啓発を行った。 (99 千円)		生ごみたい肥化ダンボールコンポスト講習会を2回開催した。広報やホームページで、生ごみの減量やリサイクルについての啓発を行い、生ごみの資源循環を促進し、燃やすごみの減量を進めた。

事業番号	2-9	事業名	ごみの排出抑制と資源化推進事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量推進運動 ・集団回収の推進 ・広報等ごみ減量啓発 ・ごみ収集カレンダーの内容の充実 		イベント会場や街頭においてごみ減量推進運動を展開するとともに、集団回収の推進、広報等によるごみ減量啓発を行った。ごみ収集カレンダーのページ数を増やして内容を充実させた。 (51,586千円)		ごみ減量推進運動を実施するなど、ごみ減量に対する意識を高めた。ごみ収集カレンダーの内容を充実させ、ごみの分別徹底による排出抑制と資源化推進を図ることができた。

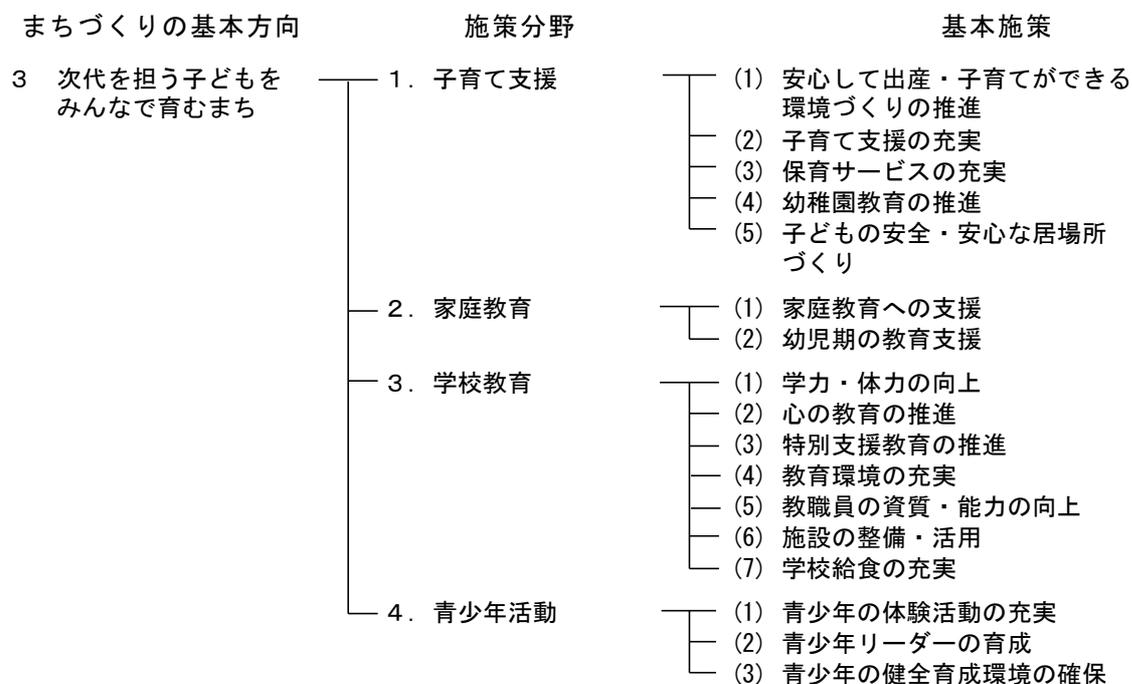
事業番号	2-10	事業名	ごみ減量講座と施設見学会事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 ・講演会の実施 ・施設見学会の実施 		講演会（1回）、出前講座（2回）、施設見学会（1回）を実施した。 (89千円)		講演会等を実施することで、多くの市民にごみ減量や分別、リサイクルについての啓発を行うことができた。

事業番号	2-11	事業名	リサイクルセンター改良工事【新規】	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・容器包装プラスチック処理ライン設置工事 		工事発注支援業務を実施し、工事業者が決定した。容器包装プラスチック処理ライン設置工事および工事監理委託の契約を締結し、工事に着手した。 (63,191千円)		容器包装プラスチック処理ライン工事および工事監理委託の契約を締結し、工事および監理を順調に進め、リサイクルセンターの延命化を進めた。

事業番号	2-12	事業名	新エネルギー利用等促進事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の屋根貸し事業の実施 ・木質バイオマスの調査研究および周知啓発 		公共施設の屋根貸し事業を実施した。 木質バイオマスに関する情報収集を行った。 (0千円)		屋根貸し事業については、2事業者で合計5施設において実施し、再生可能エネルギーの利用促進を図った。木質バイオマスの活用について、事業者と協議を実施する等の情報収集に努めた。

第3章 次代を担う子どもをみんなで育むまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
保育所待機児童数 ○	人	161	19	4	0
		H15. 4. 1	H25. 4. 1	R2. 4. 1	R5. 4. 1
学童保育所待機児童数 ○	人	65	41	73	0
		H15. 4. 1	H25. 4. 1	R2. 4. 1	R5. 4. 1
放課後子ども教室(夕やけ ランド)の実施校数	校	1	6	16	16
		H20. 3. 31	H25. 3. 31	R2. 4. 1	R4. 3. 31

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(KPI)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 子育て支援			
3-1	子ども・子育て支援事業計画の推進	(1)	
3-2	子育て支援事業	(2)	●
3-3	子育て世代包括支援事業	(2)	
3-4	ファミリー・サポート・センター事業	(2)	
3-5	学童保育事業	(3)	●
3-6	短期臨時学童保育事業	(3)	●
3-7	保育所等施設整備事業	(3)	●
3-8	放課後子ども教室事業	(5)	●
2. 家庭教育			
3-9	家庭教育啓発事業	(1)	
3. 学校教育			
3-10	学力向上事業	(1)	●
3-11	学びと心の育成事業	(1)	
3-12	児童生徒の学校適応体制の充実	(2)	
3-13	特別支援教育事業	(3)	
3-14	学校教材・備品の整備	(4)	
3-15	教育の情報化推進事業	(4)	●
3-16	小・中学校校舎トイレ改修事業	(6)	
3-17	小・中学校特別教室等空調機整備事業	【新規】 (6)	
3-18	学校施設の個別施設計画事業	(6)	
3-19	調理場統合の検討	(7)	
4. 青少年活動			
3-20	体験活動の充実	(1)	●
3-21	若者の自立等支援事業	(3)	
3-22	青少年健全育成事業	(3)	●

事業番号	3-1	事業名	子ども・子育て支援事業計画の推進
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催（年7回） ・事業の推進 ・次期計画の策定委託 		青梅市子ども・子育て会議を7回開催し、年度ごとの検証結果を報告するとともに、第2期青梅市子ども・子育て支援事業計画について諮問し、次期計画の内容について検討した。 (2,914千円)	青梅市子ども・子育て会議からの答申内容を踏まえ、令和2～6年度を対象期間とする第2期青梅市子ども・子育て支援事業計画を策定することができた。

事業番号	3-2	事業名	子育て支援事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業および子育てひろば事業等の実施 ・交通機関利用児童通学費等補助事業の実施 		子育て支援事業および子育てひろば事業を子育て支援センター、文化交流センター等で実施した。市内小中学校へ公共交通機関を利用して通学する児童等の保護者に対して、通学費を補助した。(57,996千円)	子育て支援事業等の実施により、親子の遊びの場の提供と交流の場を提供することができた。 通学費補助の実施により、小中学校に通う児童等の保護者の負担が軽減された。

事業番号	3-3	事業名	子育て世代包括支援事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て総合相談の実施 ・子育て支援情報の提供 ・子育て支援センターの管理運営 ・訪問員による家庭訪問 		子ども家庭支援センターにおける子育て総合相談を行うとともに、訪問員による家庭訪問を実施した。子育て世代包括支援センターでは、妊娠から出産、子育てに関する相談に応じた。 (49,660千円)	出産や子育てに関する不安や悩みの相談に応じたり、情報提供を行うことで、妊産婦や子育て中の方の不安等を取り除くことができ、子どもを育てやすい環境づくりにつながった。

事業番号	3-4	事業名	ファミリー・サポート・センター事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・育児支援活動 ・講習および指導の実施 ・会員間の交流等 		特定非営利活動法人に委託し、保育所などへの送迎や子どもの預かり等の育児支援活動を延べ1,008件実施した他、提供会員養成講座を2回、会員間の交流会および地区住民との交流会を開催した。(7,347千円)	育児支援活動により、子育て世代の負担を軽減し、また、提供会員養成講座を開催し、提供会員数を確保するほか、相互援助活動の組織を強化した。

事業番号	3-5	事業名	学童保育事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育所を整備 ・放課後子ども総合プランの推進 ・指定管理の見直し 		<p>令和元年度から4事業所による指定管理者が管理運営を行った。待機児童が比較的多い新町地区において、令和3年4月開所に向け、民設民営の学童保育所に関する調整を行った。</p> <p>(386,152千円)</p>	<p>多様な事業者の参入により、保育の質の向上を図った。新町地区における新たな学童保育所の開所が予定されたことにより、待機児童の減少に向けた見通しとなった。</p>

事業番号	3-6	事業名	短期臨時学童保育事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・短期臨時学童保育所の開設（計1校） ・事業検証 		<p>青梅市立霞台小学校（霞台こどもクラブC）において、夏季休業中に短期臨時学童保育所を開設した。</p> <p>(3,060千円)</p>	<p>霞台こどもクラブCにおいて、夏季休業中に短期臨時学童保育所を開設し、21人が利用した。夏季休業中の児童の福祉の向上および保護者の安心を図ることができた。</p>

事業番号	3-7	事業名	保育所等施設整備事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・今井保育園（2年目） ・ニコランド保育園 ・あゆみ保育園 ・ねむのき幼稚園 		<p>今井保育園園舎の増改築工事および新たに認可されたあゆみ保育園、ニコランド保育園（ニコランド保育園）の増改築工事並びにねむのき幼稚園の認定こども園への移行に伴う増築工事を行った。（576,004千円）</p>	<p>園舎増改築工事に伴う教育環境の向上および認可保育園2園、認定こども園が1園増えたことにより、東部地域の待機児童減少が図られた。</p>

事業番号	3-8	事業名	放課後子ども教室事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室（夕やけランド）推進事業（16校） ・学童保育事業との連携 		<p>吹上小学校で新規開設し、東小を除く全小学校16校に拡大した。放課後子ども総合プランにもとづく連携を引き続き実施した。参加者延べ人数21,317人。学童保育事業との連携回数349回。（20,023千円）</p>	<p>東小を除くすべての小学校で開設が完了し、児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うための環境を整備することができた。</p>

事業番号	3-9	事業名	家庭教育啓発事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
・家庭教育啓発事業（家庭教育講演会、家庭のローガンの周知等）の実施	子どもの安全、教育、しつけ、食育をテーマに講演会を2回行った。また、青梅私立幼稚園父母会連合会共催講演会（1回）を実施した。 (87千円)		社会問題である児童虐待や保護者の関心が高い家庭学習、遊びについて講演会を実施し、家庭教育についての啓蒙・支援を行うことができた。

事業番号	3-10	事業名	学力向上事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
・学力向上対策事業およびスタディ・アシスト事業による土曜・放課後等の補習の実施 ・研究指定校の実施など	土曜日のサタデークラス（6会場、各17～18回）、放課後等のステップアップクラス（26校）、中学3年生を対象としたスタディアシストほか、研究指定校5校による研究を実施した。（30,365千円）		放課後や土曜日の補習事業を通して、児童・生徒の学習習慣の定着を図った。 2年次の研究指定校3校が研究発表を行い、研究の成果を広めた。

事業番号	3-11	事業名	学びと心の育成事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
・学校教育の課題解決や教育活動の活性化を図る事業の実施	各学校の実態に応じて、放課後等の学習補助、登校支援、農業体験、植栽活動、伝統文化体験などを実施した。 (12,413千円)		学校の特色や、学校の実態に応じて、学力向上やいじめ問題の解決、不登校の解消に向けた事業を展開することにより、各学校の課題解決や教育活動の活性化を推進した。

事業番号	3-12	事業名	児童生徒の学校適応体制の充実
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
・適応指導教室指導員配置 ・指導環境の整備 ・スクールソーシャルワーカーの配置	適応指導教室において不登校の児童・生徒を対象に授業および体験学習等を行った。 スクールソーシャルワーカー2名を配置し、不登校や家庭環境の問題等41件の支援を行った。 (6,196千円)		適応指導教室に在籍していた中学3年生15名全員が高等学校等へ進学した。 不登校や家庭環境等の支援を行い、41件のうち、18件が解決、あるいは状況が好転した。

事業番号	3-13	事業名	特別支援教育事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校（東中を除く）への特別教室の一部実施および導入準備 ・ 教育活動支援員の配置 ・ 研修会の開催 		<p>中学校 4 校に特別支援教室を開設した。全小中学校に学校教育活動支援員を配置し、必要な支援を行った。</p> <p>特別支援教育について講演会・研修会を実施した。</p> <p>(34,853 千円)</p>	<p>特別支援教室の開設により、在籍校での支援体制が整備された。教育活動支援員の配置により、通常学級において特別な支援を必要とする児童・生徒の意欲向上や授業理解につながった。</p>

事業番号	3-14	事業名	学校教材・備品の整備
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校指導備品（図書、音楽教材、理科備品等）の更新、整備 		<p>図書購入（小学校 17 校計 7,875,119 円、中学校 11 校計 6,551,366 円）、理科備品（小学校 3 校計 898,992 円、中学校 2 校計 513,540 円）等により、学校の学習環境の整備を図った。</p> <p>(21,884 千円)</p>	<p>蔵書整備により、分野の充実や新たな知見の取得につながった。</p> <p>理科備品の購入により、実験環境を改善することができた。</p>

事業番号	3-15	事業名	教育の情報化推進事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務システム運用 ・ 教員用PC等更新 ・ 情報セキュリティ対策の実施 		<p>校務支援システムの運用開始に当たり、研修を実施した。情報セキュリティ対策として、教員の研修および計 14 校の情報セキュリティ監査を実施した。教員用 PC を更新した。</p> <p>(132,746 千円)</p>	<p>校務支援システムの運用開始により、情報の一元化を図った。情報セキュリティについて、研修や監査を実施し、意識の向上を図った。</p> <p>教員用 PC の更新により、教員の職場環境を改善できた。</p>

事業番号	3-16	事業名	小・中学校校舎トイレ改修事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本・実施設計（2校） （小1校・中1校） ・ 改修工事（4校） （小2校・中2校） 		<p>吹上小学校、第一中学校、第六中学校、吹上中学校の基本・実施設計、調査委託を実施した。</p> <p>第四小学校、新町小学校、第二中学校、霞台中学校の校舎内で使用頻度の高いトイレの改修を実施した。(417,701 千円)</p>	<p>小中学校 4 校の改修工事により、小中学校の校舎内トイレの洋式化率が前年度の約 40%から約 48%に増加し、より多くの児童・生徒が快適なトイレを使用できるようになった。</p>

事業番号	3-17	事業名	小・中学校特別教室等空調機整備事業【新規】
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
基本・実施設計 （小学校8校）		第三小学校、第四小学校、第六小学校、成木小学校、河辺小学校、霞台小学校、新町小学校、若草小学校、藤橋小学校の9校の特別教室等空調機整備の基本・実施設計を実施した。 (7,416千円)	基本・実施設計を実施した9校の内、令和2年度に小学校6校の特別教室等空調整備工事を実施するための予算を計上することができた。

事業番号	3-18	事業名	学校施設の個別施設計画事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
・個別施設計画を学校規模適正化検討委員会で検討する		公共施設等総合管理計画にもとづき、青梅市学校施設個別計画として素案を作成した。作成した計画の素案は、青梅市学校規模適正化検討委員会部会に諮り、意見を集約した。 (0円)	計画的な学校の老朽化対策、長期的な児童生徒数の減少による学校施設の適正化および予算の平準化を図る「計画」の素案を作成することができた。

事業番号	3-19	事業名	調理場統合の検討
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
・施設整備基本計画策定 ・給食調理作業を藤橋調理場に一本化		青梅市学校給食センター施設整備基本計画を策定した。 根ヶ布調理場から藤橋調理場へ一部調理機器の移設と、藤橋調理場のボイラー設備改修を行い、調理場の一本化を行った。 (13,400千円)	新共同調理場を建設するにあたっての基本計画を策定することができた。調理場を一本化したことにより、調理作業の効率化とともに経費削減ができた。

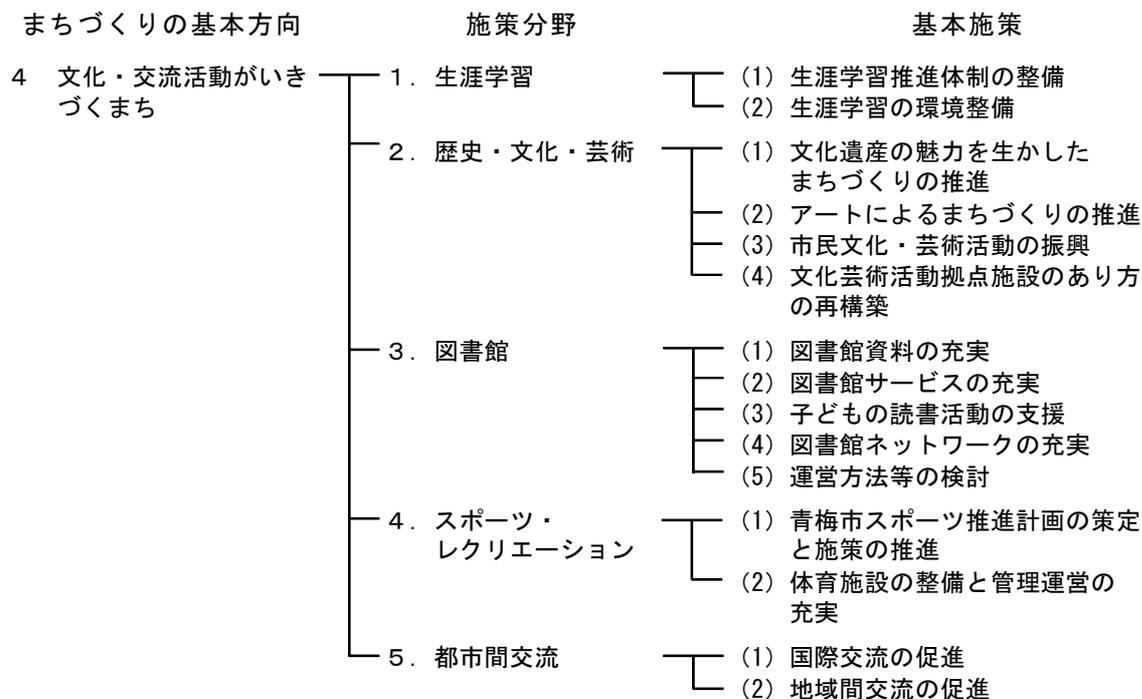
事業番号	3-20	事業名	体験活動の充実
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
・体験教室の開催（農業・食育体験教室、親子文化体験教室など）		農業・食育体験教室を4月21日から11月10日の間に9回開催し、延べ423人が参加した。 親子で参加する文化体験を2講座開催し、延べ参加者73人が参加した。 (56千円)	自宅ではあまりできない体験をすることによって、子どもたちの興味、関心の幅を広げることができた。

事業番号	3-21	事業名	若者の自立等支援事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・自立等支援事業として、若年者・家族向け相談、家庭訪問、市民向け講演会の実施 		<p>自立支援事業として、若年者・家族向け相談を16世帯延べ37回および家庭訪問を1世帯延べ4回実施した。</p> <p>また、市民および要支援者向けの講演会を開催した。</p> <p>(530 千円)</p>	<p>市民向け講演会に参加した者うち 2 名が自立に向け相談につながった。相談や家庭訪問の実施により、2 名が就職、1 名が入寮支援、2 名が多摩サポートステーション通所支援につながった。</p>

事業番号	3-22	事業名	青少年健全育成事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあい綱引き大会の実施 ・青少年健全育成団体の登録 ・青少対事業費補助 		<p>綱引き大会（47チーム、1,000人参加）を実施した。</p> <p>青少年健全育成のため、95 団体を登録し、地域活動支援として青少年対策各地区委員会に補助金を交付した。</p> <p>(2,734 千円)</p>	<p>綱引き大会では、親子や地域団体との交流ができた。スポーツや文化活動を通して青少年の健全育成活動を推進した。各地区委員会の青少年対策事業を推進した。</p>

第4章 文化・交流活動がいきづくまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
生涯学習講座・教室受講者数 ○	人	1,583	6,787	3,408	10,000
		H14年度	H24年度	R1年度	R4年度
美術館年間入館者数	人	21,293	20,837	16,898	21,000
		H14年度	H24年度	R1年度	R4年度
市民一人当たりの図書貸出冊数	冊	5.2	7.6	6.4	9.1
		H14年度	H24年度	R1年度	R4年度
スポーツ実施率	%	26.3	28.8	41.0	70以上
		H15年度	H24年度	H28年度	R4年度

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(KPI)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 生涯学習			
4-1	第六次青梅市生涯学習推進計画の推進	(1)	●
2. 歴史・文化・芸術			
4-2	文化交流センター整備事業	(4)	●
3. 図書館			
4-3	図書館資料整備事業	(1)	
4-4	青梅市子ども読書活動推進事業	(3)	
4. スポーツ・レクリエーション			
4-5	青梅市スポーツ推進計画の推進	(1)	
5. 都市間交流			
4-6	東京2020大会の成功に向けた気運醸成事業	(1)	●
4-7	自治体間交流事業	(2)	●

※図書館資料整備事業(4-3)および青梅市子ども読書活動推進事業(4-4)の事業費については、指定管理者への管理運営委託料に含まれるため「-」で表記

事業番号	4-1	事業名	第六次青梅市生涯学習推進計画の推進
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・第六次青梅市生涯学習推進計画の推進 		<p>各部署に進捗状況を確認し、状況把握に努めた。進捗状況報告書としてまとめ関係機関へ周知も行った。</p> <p>(200 千円)</p>	<p>生涯学習推進計画の体系に沿った生涯学習を各課や各関係団体と連携しながら推進することができた。</p>

事業番号	4-2	事業名	文化交流センター整備事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・外構工事 ・環境調査（事後） ・備品購入 等 		<p>各業者と契約を締結し、工事が工期限内に完了し、文化交流センターが予定通り開館した。</p> <p>(96,460 千円)</p>	<p>工期限内に完了し、文化交流センターが予定通り開館することができた。</p>

事業番号	4-3	事業名	図書館資料整備事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・図書の購入 ・視聴覚資料の購入 		<p>市民要望を尊重した図書館資料の充実に努めた。</p> <p>(一)</p>	<p>年間 146,019 冊のリクエストがあり、その内、145,993 冊の提供ができた。充足率は、99.9 パーセントであった。</p>

事業番号	4-4	事業名	青梅市子ども読書活動推進事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書活動推進事業、学校連携推進重点校事業の実施 等 		<p>第四次青梅市子ども読書活動推進計画にもとづき、読書活動支援や読書情報提供、読書啓発・広報および人材育成などの事業を実施した。</p> <p>(一)</p>	<p>おはなし会の開催、ブックリストの配布、おはなしボランティアの人材育成、小中学校への学校司書の配置（東小中除く）等の事業を実施し、子ども読書活動を推進した。</p>

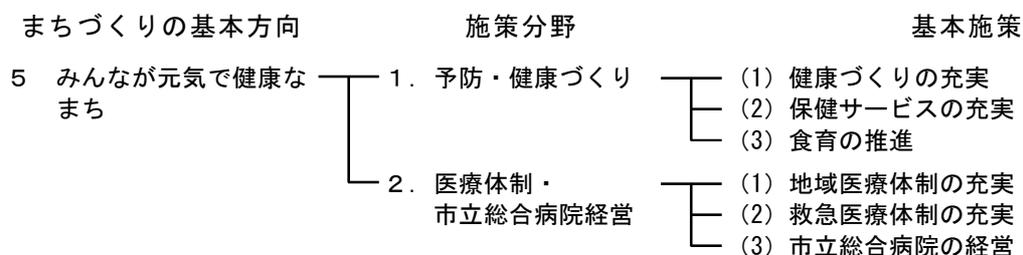
事業番号	4-5	事業名	青梅市スポーツ推進計画の推進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
・青梅市スポーツ推進計画の推進		各種スポーツ事業を実施、スポーツ・レクリエーションフェスティバルにて、ラグビーの体験会を実施した。総合体育館で空調設備導入等の工事を行った。東原公園球技場の照明をLED化した。(268千円)		スポーツ団体や指定管理者と連携し、各種スポーツ事業を実施することで、スポーツを身近に感じてもらう機会を創出した。体育施設の設備を充実し、青梅市スポーツ推進計画を推進した。

事業番号	4-6	事業名	東京2020大会の成功に向けた気運醸成事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
・スポーツ交流、文化交流などによる気運醸成 ・カヌーキャンプ誘致など		ラグビーW杯に合わせたイベント開催、スポーツ体験機会の提供、パラスポーツ国際大会観戦会、文化キャラバン、ドイツ人学生との交流、カヌーキャンプの誘致活動などに取り組んだ。(20,822千円)		東京2020大会の成功に向けて、スポーツ、文化、教育など多様な分野で誰もが参加できる機会を提供することができ、大会気運の醸成を図ることができた。

事業番号	4-7	事業名	自治体間交流事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
・各種事業による交流 ・青梅・南相馬スクラム支援事業「夏休み青梅子ども体験塾」の実施		青梅・南相馬スクラム支援事業「夏休み青梅子ども体験塾」(2泊3日)の実施等、自治体間の交流の輪を広げた。(2,113千円)		青梅市・杉並区が相互に各種イベントに参加し、関係団体や住民との交流を図った。また、青梅・南相馬スクラム支援事業「夏休み青梅子ども体験塾」の実施等を通じて、自治体間の交流の輪を広げた。

第5章 みんなが元気で健康なまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
特定健康診査の受診率	%	42.5	48.5	51.3	60.0
		H20年度	H24年度	R1年度	R4年度
慢性腎不全(CKD)重症化予防の取組による新規人工透析の患者数	人	15	20	18	10
		H20年度	H24年度	R1年度	R4年度
乳幼児健康診査の受診率	%	95	97	98	100
		H22年度	H24年度	R1年度	R4年度
「食育」へ関心を持っている市民の割合	%	-	69.4	67.1	80以上
		-	H20年度	H30年度	R4年度
「かかりつけ医」がいる市民の割合	%	-	53.6	70.3	70
		-	H20年度	H30年度	R4年度

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 予防・健康づくり			
5-1	青梅市健康増進計画の推進	(1)	
5-2	生活習慣病の重症化予防	(2)	
5-3	青梅市食育推進計画の推進	(3)	
2. 医療体制・市立総合病院経営			
5-4	地域医療機関連携推進事業	(1)	
5-5	医療器械整備推進事業	(3)	
5-6	新病院建設事業	(3)	

事業番号	5-1	事業名	青梅市健康増進計画の推進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 青梅市健康増進計画の推進 推進会議、庁内連絡会議の開催 		推進会議および庁内連絡会議を2回開催した。第4次青梅市健康増進計画を策定した。 (1,700千円)		推進会議および庁内連絡会議において、各課の取組状況を確認し、今後の方向性を協議することで、本計画を推進することができた。第4次青梅市健康増進計画を新たに策定することができた。

事業番号	5-2	事業名	生活習慣病の重症化予防	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 対象者へ啓発 医師による講演会の開催 		前年度の特定健診受診者で、eGFR50未満または、尿タンパク(+)以上の976名へ、慢性腎臓病予防講演会の案内と共に再検査通知を送付し、4月10日に実施した講演会には75名が参加した。(109千円)		慢性腎臓病の疑いがある対象者へ、重症化予防のための啓発を行うことができた。中止となった講演会への申込者に対して慢性腎臓病予防に関するパンフレットを郵送し、予防の啓発を行った。

事業番号	5-3	事業名	青梅市食育推進計画の推進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 次期計画策定にかかる食育推進会議、庁内連絡会議開催（年4回） 食育関連事業の開催 		食育推進会議（4回）、親子食育講座（2回（35名））、市民食育講演会（20名）、子どもお菓子作り教室（20名）を開催した。第3次青梅市食育推進計画を策定した。(1,960千円)		親子食育講座により親子で食に関する知識の習得を図ることができた。食育推進会議、庁内連絡会議を経て、新たに翌年度からの指針となる計画を策定することができた。

事業番号	5-4	事業名	地域医療機関連携推進事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 地域の医師等医療従事者向け研修会や地域医療連携懇話会の実施 地域医療支援病院の継続 		地域医療支援病院の継続に努め地域医療連携学習会2回、地域連携がんセミナー2回、地域医療連携懇話会1回を実施した。にしたまICT医療ネットワークの運用開始や地域医療連携の強化継続に努めた。(3,506千円)		紹介率63.4%、逆紹介率108.9%となり、当院設定基準を上回った。

事業番号	5-5	事業名	医療器械整備推進事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・PET・SPECT装置の更新 ・人工心肺装置の更新 ・新病院移行に伴う医療機器の計画的更新など 		PET・SPECT装置など、新病院開院に向けて更新等が必要となる医療器械47装置について計画的な更新等を行った。 (568,681千円)		PET・SPECT装置は西多摩では初めて導入した装置で、従前に比べ画質の大幅な向上、高い診断能力を実現し、検査時間の短縮と放射性薬剤の投与量減による患者の被ばく低減にもつながった。

事業番号	5-6	事業名	新病院建設事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務の完了 ・南棟アスベスト撤去および地上部解体工事着手 		12月に実施設計業務を完了。南棟および南別館の機能を仮設棟に移転し、南棟アスベスト撤去および地上部解体工事に着手。制限付一般競争入札を採用した入札公告を行い、施工者の選定作業を進めた。(461,080千円)		医療機能の充実と療養環境の整備を図るとともに、健全な病院運営、経営基盤の強化に向けて、計画どおりに事業を推進した。

第6章 福祉が充実したまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
自分が健康だと自覚している 高齢者の割合	%	—	80.2	79.5	増加
		—	H22 年度	R1 年度	R4 年度
要介護(要支援)認定者の出 現率※	%	11.9	14.5	15.8	21.7
		H15.3.31	H25.3.31	R2.3.31	R5.3.31
認知症サポーター数	人	292	1,490	5,880	10,000
		H20.3.31	H25.3.31	R2.3.31	R5.3.31

※出現率＝要介護(要支援)認定者数÷介護保険第1号被保険者(65歳以上)数

※要介護(要支援)認定者の出現率の到達目標は、「第6期青梅市高齢者保健福祉計画・青梅市介護保険事業計画」の推計値です。

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 地域福祉			
6-1	民生委員・児童委員の適正配置	(2)	
6-2	成年後見制度等の周知および利用促進	(3)	
2. 高齢者福祉			
6-3	介護予防・日常生活支援総合事業	(2)	
6-4	高齢者等見守り支援ネットワークの構築	(3)	
6-5	認知症サポーター養成研修事業	(3)	
3. 障害者福祉			
6-6	障害者計画、障害福祉計画の策定・推進	(1)	
6-7	青梅市障がい者サポートセンター事業	(2)	
6-8	視聴覚サービス等支援事業	(2)	
6-9	青梅市障害者就労支援センター事業	(3)	
4. ひとり親福祉			
6-10	ひとり親家庭自立支援事業	(1)	●
5. 生活保護			
6. 社会保障			

事業番号	6-1	事業名	民生委員・児童委員の適正配置	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 委員の改選 地域福祉活動の推進 各種相談業務 関係機関との調整 協議会の運営 		<p>3年に一度の一斉改選を行った。</p> <p>民生児童委員の日々の活動として、高齢者や障害のある方の見守り、相談、各種調査業務を行った。</p> <p>(37,920千円)</p>		<p>一斉改選により、定数 151名に対し 144名の委員を委嘱することができた。</p>

事業番号	6-2	事業名	成年後見制度等の周知および利用促進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 成年後見活用あんしん生活創造事業の推進 社会貢献型後見人等の導入の検討 法人後見の実施 		<p>市長申立による申請や後見報酬に伴う費用を助成した。</p> <p>社会福祉協議会による法人後見を受任した。</p> <p>(14,291千円)</p>		<p>市長申立による後見報酬の1件の助成を行った。</p> <p>社協による法人後見を12件受任した。</p>

事業番号	6-3	事業名	介護予防・日常生活支援総合事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 介護予防・日常生活支援総合事業の実施 		<p>第2層協議体を設置する取り組みと、設置済地域では、地域における活動や問題点について話し合いを重ねた。さらに、「おうめ支えあいフォーラム」、元気高齢者等による担い手養成講座も実施した。(236,715千円)</p>		<p>9の地域で勉強会を計27回開催した。協議体設置済地域では、地域活動の情報共有や関係者間のネットワークの構築を図った。元気高齢者等による担い手を34名養成した。</p>

事業番号	6-4	事業名	高齢者等見守り支援ネットワークの構築	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 協力事業者の拡充 高齢者等見守り支援ネットワーク会議の開催 		<p>民間事業者との見守り協定締結を拡充するとともに、関係機関等との連携を深め、見守りのネットワークの充実を図った。青梅市見守り支援ネットワーク事業ステッカーを作成し、連絡会において配布した。(154千円)</p>		<p>協定締結事業者が3事業者増え、合計40事業者となり、高齢者の見守り体制を拡大することができた。また、ステッカーの作成・配布により、事業者との連携強化を図ることができた。</p>

事業番号	6-5	事業名	認知症サポーター養成研修事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成研修の実施 ・関係機関との連携 	<p>認知症サポーター養成研修を17回開催した。認知症サポーターが736名増加し、累計5,880名となった。</p> <p>(135千円)</p>	<p>講師であるキャラバンメイトは包括支援センター職員のほか、医療機関相談員、介護施設職員等が行い、認知症の普及啓発について連携して取り組むことができた。</p>	

事業番号	6-6	事業名	障害者計画、障害福祉計画の策定・推進
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者計画および障害福祉計画・障害児福祉計画の推進 ・障害者計画の策定 	<p>各種計画の進捗について、自立支援協議会にて検証を行ない、青梅市障害者計画検討委員会にて基礎調査結果等を踏まえた障害者計画案について協議を行い、第5期青梅市障害者計画を策定した。(2,473千円)</p>	<p>第5期青梅市障害者計画の計画書は、本編のほか、要点を記した概要版と、容易な標記を用いたわかりやすい版を作成したことで、計画の周知を図ることができた。</p>	

事業番号	6-7	事業名	青梅市障がい者サポートセンター事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者を支援する各種事業の実施 	<p>障がい者を支援するための相談支援事業や地域活動支援センター事業の他、障害者虐待防止、発達障害者支援事業、高次脳機能障害者に対する普及啓発のためそれぞれ講演会を実施した。</p> <p>(54,298千円)</p>	<p>精神保健福祉士を増員し、より多くの相談に対応するなど相談体制が充実した。講演会の実施により、障がいに関する正しい知識を広めることができた。</p>	

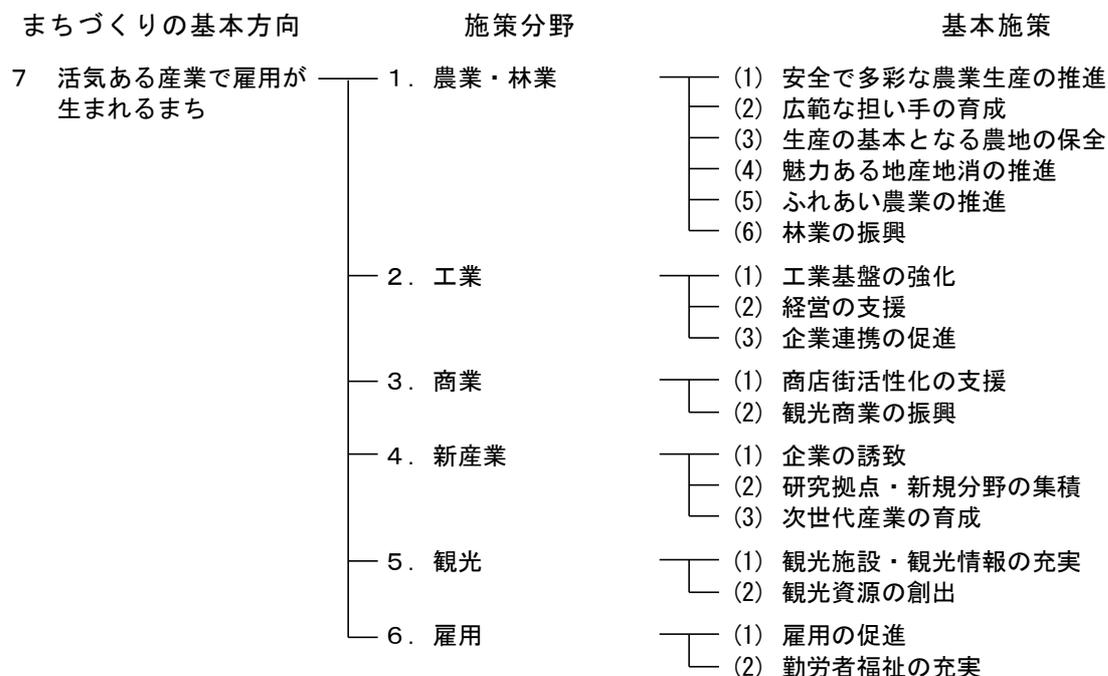
事業番号	6-8	事業名	視聴覚サービス等支援事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・音声コードの普及啓発 ・市民等への周知 ・手話講習会の実施 	<p>障がい者福祉課の窓口到手話通訳者を配置した。(火曜日の午前、水曜日の午後)音声コードの市刊行物等への使用と普及啓発を図った。手話講習会(中級)を33回実施し、36名が受講した。(466千円)</p>	<p>障がい者福祉課窓口到手話通訳者を配置し、窓口サービスの向上を図った。音声コードの普及を市全体で取り組むことにより、情報のバリアフリー化を図った。</p>	

事業番号	6-9	事業名	青梅市障害者就労支援センター事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・就労面の支援の実施 ・生活面の支援の実施 		職業相談、就労準備相談などの就労面の支援や日常生活、社会生活などの生活面の支援を行った。市内企業向け施設見学会に参加し、就労支援センターを周知した。 (29,200 千円)	就労を希望する障害者に対し、青梅市役所において、職場体験実習を実施し、実習後2名の実習生が就労することができた。

事業番号	6-10	事業名	ひとり親家庭自立支援事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・母子・父子自立支援員等による相談・支援の実施 ・高等職業訓練促進給付金等の支給 		母子・父子自立支援員等による相談を577件受け、支援を実施するとともに、高等職業訓練促進給付金や修了支援給付金等を支給した。 (18,413 千円)	修了支援給付金支給者5人のうち2人が看護師、1人が准看護師の国家資格を取得し就労を開始し、2人が准看護科卒業後、看護科へ進学した。

第7章 活気ある産業で雇用が生まれるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
年間観光入込み客数	人	212万	195万	216万	212万
		H13年度	H24年度	H29年度	R4年度
事業所数・従業員数 ○	カ所 人	5,200 56,280	5,051 55,925	4,504 47,556	5,024 55,629
		H13	H21	H28	R4

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(KPI)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 農業・林業			
7-1	青梅市農業振興計画の推進	(1)	●
7-2	梅の里再生事業	(1)	●
7-3	強化対策地区における緊急防除対策事業	(1)	●
7-4	都市農業活性化支援事業	(2)	
7-5	農業経営改善計画等の推進	(2)	
7-6	6次産業化支援事業	(4)	●
7-7	林業振興事業	(6)	●
2. 工業			
7-8	おうめものづくり支援事業	(1)	●
7-9	おうめひとづくり支援事業	【新規】(1)	●
3. 商業			
7-10	商・工業振興プランの推進	(1)	●
7-11	商店街空き店舗活用事業	(1)	●
7-12	商店街活性化イベント事業の推進	(2)	●
7-13	販路拡大支援事業	(2)	●
4. 新産業			
7-14	企業誘致の推進	(1)	●
5. 観光			
7-15	観光ボランティア養成事業	(1)	●
7-16	おうめ！観光戦略創造プロジェクト	(1)	●
7-17	「道の駅」整備の検討	(1)	●
7-18	梅の里再生事業	(2)	●
7-19	フィルムコミッション(ロケーションサービス)事業	(2)	●
6. 雇用			
7-20	就職面接会の開催	(1)	●
7-21	労働相談の実施	(2)	

事業番号	7-1	事業名	青梅市農業振興計画の推進
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興計画にもとづく事業の推進 	<p>1月28日に開催した青梅市農業振興対策審議会において、第三次青梅市農業振興計画の取り組み状況について報告するとともに協議した。</p> <p>(84千円)</p>		<p>生産基盤の整備・保全のため、獣害対策の推進を図り、農作物被害防止用簡易電気柵の貸出(7件)を行うなど、「第三次青梅市農業振興計画」における計画事業を推進した。</p>

事業番号	7-2	事業名	梅の里再生事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・梅まつりの実施 ・梅の公園等の整備充実 ・梅苗木育成・管理 ・援農ボランティア講座 	<p>梅まつり(2月23日～3月22日)を実施した。梅の公園に88本の梅樹植栽、施設整備(園路舗装等)、中道梅園に梅樹植栽、ロープ柵整備を実施した。日高市圃場において梅苗木育成・管理等を実施した。(122,593千円)</p>		<p>継続的な梅樹植栽や施設整備、管理の充実により、梅の里の景観の再生を進めた。梅まつりを実施し、梅の公園等に11,107人の来場者があった。梅苗木など215本を農地に再植栽することができた。</p>

事業番号	7-3	事業名	強化対策地区における緊急防除対策事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況調査 ・アブラムシ防除作業 ・感染樹の即時伐採 	<p>ウメ輪紋ウイルス緊急防除にかかる強化対策を実施した。年3回のPPV感染状況調査、春季・秋季のアブラムシ防除を実施した。感染樹の即時伐採(枝打ち)は、国の方針変更に伴い実施していない。(44,994千円)</p>		<p>強化対策の実施により、再植栽地区を強化対策地区1・2に加え、強化対策地区3まで拡大することができた。</p>

事業番号	7-4	事業名	都市農業活性化支援事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・農業者集団等の生産力や収益の向上の支援 ・支援対象事業の検討 	<p>認定農業者の営農集団である青梅市そさい振興会、認定新規就農者の営農集団であるネオファーマーズ青梅に対し、生産施設や農畜産業用機械の購入にかかる費用を補助した。</p> <p>(25,833千円)</p>		<p>生産施設や農畜産業用機械を新たに導入することで、生産・出荷調整作業の効率化や生産物の品質向上、出荷の安定を図り、農業への定着と育成が図られた。</p>

事業番号	7-5	事業名	農業経営改善計画等の推進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 市内認定農業者等への支援 		8名の認定農業者等に農業経営改善計画等実施事業補助金を交付した。 (1,163千円)		認定農業者等の生産力が向上し、農業経営改善計画および青年等就農計画の推進に寄与した。

事業番号	7-6	事業名	6次産業化支援事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化の支援 地産地消の推進 新たな補助事業 		6次産業化事業に取り組む市内団体（1件）に対し、地場産野菜を使った製品開発に6次産業化事業費補助金を交付した。 (168千円)		新たな加工品の研究・開発にかかる経費やその後の商品化およびその販路拡大を行うための経費等を補助することにより、地域産業の活性化と青梅産農林産物の販売拡大が図られた。

事業番号	7-7	事業名	林業振興事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 林業振興事業の検討 		2回開催した青梅市森林整備推進協議会において、森林環境譲与税を活用した林業振興について検討を行った。 (0円)		2回開催した青梅市森林整備推進協議会において、森林環境譲与税については、森林経営管理法にもとづく後年度の森林整備を促進するための財源として基金に積み立てることとした。

事業番号	7-8	事業名	おうめものづくり支援事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 中小企業に対する各種支援の実施 支援企業に対する効果測定 		中小企業に対し、新事業チャレンジ支援（1件）、新製品・新技術開発事業（4件）、産業財産・認証出願支援（1件）を実施した。 (4,458千円)		新製品や改良を加え付加価値を高めた製品等への補助を行い、それら製品の産業財産の保護や販路拡大につながる展示会出展支援を行うことで、市内中小企業の経営基盤の向上に努めた。

事業番号	7-9	事業名	おうめひとづくり支援事業【新規】
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業に対する各種支援の実施 ・ 支援企業に対する効果測定 		<p>人材確保や市場拡大の支援を図るため、「ひとづくり支援事業」を創設した。中小企業に対し、人材確保・育成事業（12件）、企業間交流支援事業（1件）、販売促進支援事業（15件）を支援した。（3,313千円）</p>	<p>ものづくり企業に限定せず広く市内事業者が活用できるメニューにより、盤石な体制づくりを支援することができた。</p>

事業番号	7-10	事業名	商・工業振興プランの推進
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の推進 		<p>「生産性向上特別措置法」に基づく「青梅市導入促進基本計画」に従い、市内企業が策定した「生産設備導入等計画」を認定することで、中小企業の経営基盤の安定を目指す取組みを行った。（0円）</p>	<p>生産性向上の実現に向けた中小企業の先端設備導入計画は23件の申請があり認定を行った。IOT化推進に向けたセミナーを開催し、市内外の多分野の事業者が出席し、異事業種間の交流が図れた。</p>

事業番号	7-11	事業名	商店街空き店舗活用事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家賃助成補助等の実施 		<p>商店街が行う空き店舗活用事業に対して家賃補助を実施した。（2,000千円）</p>	<p>空き店舗の解消とにぎわいの創出、来街者増に寄与するとともに商店街の活性化を支援できた。魅力ある個店づくりと創業者の活躍の場を支援し地域経済の活性化が図れた。</p>

事業番号	7-12	事業名	商店街活性化イベント事業の推進
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント事業等の支援 		<p>青梅宿アートフェスティバル等の商店会が行うイベント事業等に対し、補助金を交付した。（8団体、13事業）（7,195千円）</p>	<p>主に商店会が主催するイベント事業の維持・継続に寄与するとともに、年間で約22万人の来街者が訪れるなか、それらの回遊やリピーターを促し、商店街の振興・活性化を図ることができた。</p>

事業番号	7-13	事業名	販路拡大支援事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・特産品の選定支援 ・販路拡大状況の把握 	<p>市の特産品を購入できるインターネットサイト「東京いいもの青梅」の市内事業所の追加登録、商品を拡充させ、青梅市の土産品や推奨品を市内外へ広域的に発信することで商業振興を図った。（0円）</p>	<p>青梅商工会議所とともに販路拡大支援を行い、取扱事業者、商品は前年度 28 社 74 品目から 31 社 84 品目へ拡充した。アクセス数も前年度比で 12% 増、販売実績は約 73% 増となった。</p>	

事業番号	7-14	事業名	企業誘致の推進
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致条例の周知による企業誘致の推進 ・企業誘致奨励金の交付 	<p>事業用地に関し金融機関と相互連携を図り市内に事業進出を希望する企業に情報提供を行った。（919 千円）</p>	<p>市内に事業用地を取得し、新社屋を建設した 1 社に企業誘致奨励金を交付した。 【奨励金交付企業】 (株)有明電装</p>	

事業番号	7-15	事業名	観光ボランティア養成事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドボランティア事業の充実 	<p>しょうぶ公園および梅の公園ガイドボランティアともに新規募集を行った。来園者に質の高いサービスを提供するため、勉強会および情報交換会等を開催して、知識の獲得および共有に努めた。（61 千円）</p>	<p>しょうぶ公園および梅の公園ガイドボランティアには、新規で2名のガイドボランティアが加わった。勉強会、情報交換会等、年間を通じた開催により、知識の獲得および共有を図ることができた。</p>	

事業番号	7-16	事業名	おうめ！観光戦略創造プロジェクト
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業の実施と検証 ・次年度以降の検討 	<p>観光PR動画を作成した。着地型旅行商品の開発や特産物・お土産のPRプロジェクトを実施した。OmeBlueの普及を目的に、PR活動等を行った。前戦略を検証し、おうめ観光戦略2020-2022を策定した。（16,423 千円）</p>	<p>観光PR動画を広く公開し、市内外へ魅力を発信できた。青梅の産品を紹介するTokyo-Ome Card Bookを市内の飲食店等、約200店舗に活用を依頼した。OmeBlue活用事例が約110件となった。</p>	

事業番号	7-17	事業名	「道の駅」整備の検討	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 整備に向けての課題整理および情報収集 		課題整理、検討を行った。 (0円)		検討の結果、計画期間内の実施を断念した。

事業番号	7-18	事業名	梅の里再生事業（7-2の再掲）	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 梅まつりの実施 梅の公園等の整備充実 梅苗木育成・管理 援農ボランティア講座 		梅まつり（2月23日～3月22日）を実施した。梅の公園に88本の梅樹植栽、施設整備（園路舗装等）、中道梅園に梅樹植栽、ロープ柵整備を実施した。日高市圃場において梅苗木育成・管理等を実施した。（122,593千円）		継続的な梅樹植栽や施設整備、管理の充実により、梅の里の景観の再生を進めた。梅まつりを実施し、梅の公園等に11,107人の来場者があった。梅苗木など215本を農地に再植栽することができた。

事業番号	7-19	事業名	フィルムコミッション(ロケーションサービス)事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 撮影場所の情報提供等 		撮影場所の情報提供、希望する撮影風景の場所探し、撮影希望施設への交渉、撮影現場の立会い等を実施した。また、希望によりロケ弁、駐車場、宿の紹介やエキストラ募集の広告などについても行った。（0円）		224件の相談があり、75件の撮影が行われた。

事業番号	7-20	事業名	就職面接会の開催	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との共催による就職面接会、講習会等の実施 		関係団体と共催で各種就職面接会・企業説明会を合計7回実施した。また女性の再就職支援、働く女性のためのスキルアップ講座を2回（計8日間）実施した。 (0円)		ハローワーク青梅との共催事業により、92名の参加者のうち20名の若年者の就職、再就職を支援した。東京しごとセンター多摩との連携共催事業により25名の就職内定を支援した。

事業番号	7-21	事業名	労働相談の実施
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
・労働相談の実施		<p>毎月1回（第3水曜日午前または夜間、日曜日）、社会保険労務士による無料の労働相談を実施した。</p> <p style="text-align: center;">(0円)</p>	<p>雇用環境、労使間のトラブル、更に新型コロナウイルスに関連した諸問題について社会保険労務士から指導を受けられる機会を設け、年間延べ9人の利用があり、問題解決に向けた支援ができた。</p>

第8章 都市基盤が整う魅力あるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
地籍調査進捗率(D I D)	%	38.5	43.8	53.3	56.2
		H21.3.31	H25.3.31	R2.3.31	R5.3.31
J R 青梅線利用者数 (河辺駅、東青梅駅、青梅駅 の乗車人員) [※] ○	人	27,876	26,795	26,259	28,900
		H14年度	H23年度	R1年度	R4年度
水洗化率	%	89.5	92.3	96.2	100
		H15.3.31	H25.3.31	R2.3.31	R5.3.31

※ J R 青梅線利用者数は、上記各駅における一日平均の乗車人員の合計

※ ○ は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(K P I)と共通の指標

※ J R において東青梅駅の

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 都市形成			
8-1	都市計画マスタープランの改定・推進	(1)	
8-2	地籍調査事業	(1)	
8-3	今井土地区画整理事業の推進	(2)	
8-4	東青梅駅整備事業	(2)	
8-5	日本ケミコン跡地の利活用	(2)	●
8-6	中心市街地活性化促進事業	(2)	●
2. 道路			
8-7	都市計画道路の整備	(2)	
8-8	市道の改修・改良	(2)	
8-9	健康と歴史・文化の路整備事業	(2)	
8-10	電線類の地中化	(2)	
8-11	橋りょうの長寿命化	(3)	
3. 公共交通			
8-12	青梅市公共交通基本計画の推進	(1)	●
8-13	バス路線等補助事業	(3)	●
8-14	地域公共交通改善事業	(3)	●
4. 下水道			
8-15	公共下水道汚水事業計画の推進	(1)	
8-16	合併処理浄化槽整備事業計画の推進	(1)	
8-17	第3期事業区域の下水道(汚水)整備	(1)	
8-18	小曾木事業区域の下水道(汚水)整備	(1)	
8-19	御岳山事業区域の下水道(汚水)整備	(1)	
8-20	ポンプ場の改修・更新	(2)	
5. 河川・砂防			
8-21	河川の維持改修	(2)	
6. 都市景観			
8-22	景観まちづくり事業	(1)	

事業番号	8-1	事業名	都市計画マスタープランの改定・推進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ケミコン跡地等における用途地域に関する都市計画変更の検討 特定生産緑地の指定等に向けた準備 		特定生産緑地制度に関する説明会を17回開催した。また、生産緑地地区に定めることができる区域の規模に関する条例の施行、生産緑地地区指定方針および指定基準等の改正を行った。 (501千円)		都市計画マスタープランに位置付けた都市の将来像を実現するため、個別分野のまちづくりの目標を推進した。

事業番号	8-2	事業名	地籍調査事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 都市再生地籍調査 御岳山地区地籍調査 		都市再生地籍調査および官民境界測量を実施した。また、下水道事業に先立ち、御岳山駅周辺の境界確定を行った。 (63,581千円)		街区調査および一筆地調査を継続的に実施し、地震等による災害復旧や土地取引の円滑化への対応を図った。

事業番号	8-3	事業名	今井土地区画整理事業の推進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との協議 環境影響評価関連手続 都計道調査設計 地籍整備 		市街化区域への編入や農振農用地除外について協議を進めるとともに、地権者組織と連携し、環境影響評価制度に係る手続を開始した。また、都市計画道路の調査設計、地籍整備の測量を実施した。(76,692千円)		東京都と調整を進め、市街化編入や農振農用地除外に必要な基本事項について方向性を確認した。また、地権者組織と連携し、都環境影響評価審議会へ調査計画書を付議し、現況調査を開始した。

事業番号	8-4	事業名	東青梅駅整備事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> J R 等と協議 		J R が実施する調査設計の進捗よく状況について、情報を共有した。 (0円)		東青梅駅の駅舎建替えの早期実現に向けた協議を進めることができた。

事業番号	8-5	事業名	日本ケミコン跡地の利活用
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画の検討 		<p>平成29年度に策定した利活用構想にもとづき、「東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画」策定に向けた検討を行った。また、民間施設の視察やホールに関するアンケート調査を行った。(20,952千円)</p>	<p>施設の配置計画の決定や市民意見の把握を行ったことにより、東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画の策定に向けて検討を進めることができた。</p>

事業番号	8-6	事業名	中心市街地活性化促進事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 認定基本計画事業推進 青梅駅前地区市街地再開発事業支援 青梅街道沿道空き店舗対策事業の推進等 		<p>認定基本計画にもとづき各種事業を実施した。青梅駅前地区市街地再開発準備組合の運営および計画の推進を支援した。株式会社まちづくり青梅の運営および事業を支援した。(41,736千円)</p>	<p>青梅駅前地区については、青梅駅前地区内の建物調査を実施し、計画の推進を図った。</p>

事業番号	8-7	事業名	都市計画道路の整備
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 3・5・5 総合高校補償代行工事 3・5・24 街築工事 等 3・5・26 用地取得 等 		<p>3・5・5号線の総合高校補償代行工事、3・5・24号線の街築工事のほか、3・5・26号線の物件補償・街築工事等を実施した。(320,113千円)</p>	<p>各都市計画道路において、補償代行工事や街築工事、物件補償等を実施した。3・5・26号線においては、街築工事の実施により約80mの区間が相互通行となり、交通が円滑化し利便性が向上した。</p>

事業番号	8-8	事業名	市道の改修・改良
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 改修工事(幹29号線他) 路面改良(幹4号線他) 		<p>幹29号線他の改修工事、幹1号線他の路面改良工事および物件補償等を実施した。(102,590千円)</p>	<p>改修工事、路面改良工事、補修工事等を実施し、安全性、利便性が向上した。</p>

事業番号	8-9	事業名	健康と歴史・文化の路整備事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 青梅駅からキネマ通りに通じる市道の無電柱化事業に合わせた検討 		青梅駅前地区第一種市街地再開発事業の進捗状況を確認しながら、当該整備に向けた検討を進めた。 (0 円)		事業推進に当たって庁内での調整を図り、当該整備に係る課題整理を行った。

事業番号	8-10	事業名	電線類の地中化	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 電線共同溝予備設計委託 通信管引込設計委託 電力・通信引込連系管工事 		無電柱化チャレンジ支援事業制度を活用し、電線類地中化に向けた予備設計を実施した。 3・5・5 号線の引込連系管工事等は、関係機関と調整して実施時期の検討を行った。 (10, 120 千円)		無電柱化チャレンジ支援事業制度に必要な「技術検討会」を設置して予備設計委託を実施し、事業の推進を図った。3・5・5号線については、関係機関と調整を図り実施時期の見直しを行った。

事業番号	8-11	事業名	橋りょうの長寿命化	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 点検 補修設計 補修工事 		橋りょう等の定期点検、調査、補修設計および補修工事を実施した。 (52, 486 千円)		定期点検を 67 橋(直営点検含む)、塗膜調査を 8 橋、補修設計を 3 橋および補修工事を 4 橋実施し、長寿命化を図った。

事業番号	8-12	事業名	青梅市公共交通基本計画の推進	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 青梅市公共交通基本計画の推進 		公共交通協議会を 3 回開催した。公共交通を利用するハイキングマップを配布した。成木小学校で交通環境学習を、総合防災訓練でパネル展を実施した。公共交通ガイドを、自治会加入世帯に配布した。(3, 176 千円)		ハイキングマップの配布後、一部バス停にて利用者数が 4 倍以上増加した。パネル展では、利用案内などを配布するとともに、アンケート調査を実施し、利用状況やニーズを把握した。

事業番号	8-13	事業名	バス路線等補助事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公共負担金によるバス路線の維持 ・新たな公的支援制度の検討 		バス路線の維持確保のための公共負担を行った。 (123,425千円)	都営バスおよび西東京バスに対して公共負担を行い、路線維持を図った。

事業番号	8-14	事業名	地域公共交通改善事業
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の維持および利用促進策の取組支援 		既存のバス路線の維持存続に向けて、利用促進や住民の意識改革を図るための施策として、青梅市公共交通協議会と連携し、公共交通を利用するハイキングマップを作成し、配布した。 (0円)	ハイキングマップの配布後、上成木バス停の9月の利用者数が前年同月比で4倍以上増加した。

事業番号	8-15	事業名	公共下水道汚水事業の推進
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道全体計画変更 		公共下水道全体計画の変更に伴い、下水道整備の基本方針の確認、基本事項の検討および事前協議等の準備作業を実施した。 (0円)	上位計画である多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画および多摩川流域下水道事業計画との整合を図ることができた。

事業番号	8-16	事業名	合併処理浄化槽整備事業の推進
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続 ・公設浄化槽設置 38基と工事に伴う実施設計 ・浄化槽維持管理 		公設浄化槽を14基設置し、個人所有合併処理浄化槽の譲渡を4基受け入れた。これにより、公設浄化槽は278基となった。また、実施設計委託を6基行った。 (47,752千円)	公設浄化槽の設置および個人所有合併処理浄化槽の譲渡受入れにより、事業推進に努めた。

事業番号	8-17	事業名	第3期事業区域の下水道（汚水）整備
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 工事延長 L=521.0m 	柚木町地区において下水道（汚水）管きよの枝線布設工事を実施した。 工事延長 L = 236.25m (41,620 千円)	第3期事業区域における下水道面整備率は、一部未執行であったが、約98%となった。	

事業番号	8-18	事業名	小曾木事業区域の下水道（汚水）整備
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 工事延長 L = 270m 	黒沢地区・小曾木地区および富岡地区において下水道（汚水）管きよの枝線布設工事を実施した。 工事延長 L = 338.8m (97,526 千円)	小曾木事業区域における下水道面積整備率は、約96%となった。	

事業番号	8-19	事業名	御岳山事業区域の下水道（汚水）整備
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 下水道管きよ布設工事 L = 260.7m (連絡管ケーブル脇) 	御岳山事業区域において下水道（汚水）の連絡管整備工事を実施した。工事延長 L = 331.3m 御岳山地区への連絡管（第2ルート）にかかる基本設計（1式）を行った。 (88,850 千円)	3か年の連絡管整備工事が完了した。 また、御岳山地区への連絡管基本設計を行った。	

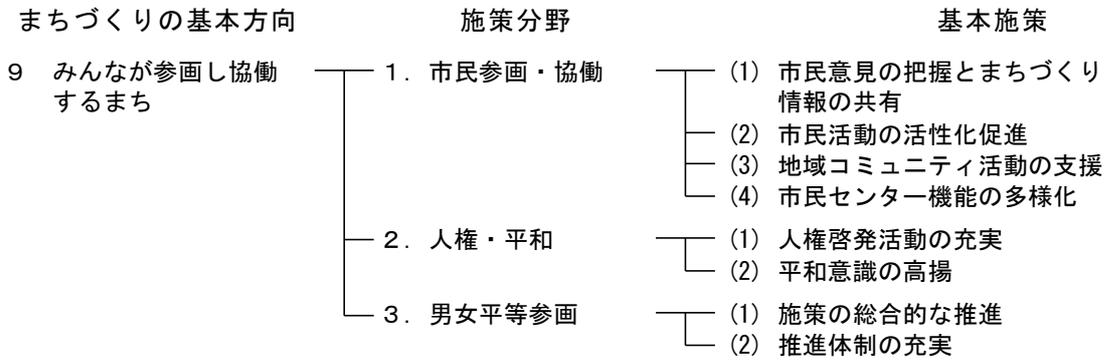
事業番号	8-20	事業名	ポンプ場の改修・更新
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 中継ポンプ場耐震診断業務委託 	都市づくり公社への委託により友田・梅郷第1・二俣尾第2中継ポンプ場の耐震診断業務および友田・柚木第2中継ポンプ場の機械・電気設備のストックマネジメント計画を策定した。 (46,099 千円)	耐震診断業務およびストックマネジメント計画策定業務を実施したことにより、次年度以降順次予定しているポンプ場施設の改修工事等に備えることができた。	

事業番号	8-21	事業名	河川の維持改修	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川維持工事 ・ 大門川整備工事 （霞川合流部～水門） ・ 矢端川調節池測量委託 ・ 八幡堀水路補修工事 		大門川整備工事、矢端川調節池測量委託および八幡堀水路補修工事を実施したほか、自治会要望等にもとづく水路補修工事等を実施した。 (23,279千円)		天候不順のため一部工事を翌年に繰り越したが、大門川の整備工事を実施した。矢端川調節池整備用地の測量を実施した。自治会要望等にもとづく水路補修工事および浚渫工事により河川の機能保全を図った。

事業番号	8-22	事業名	景観まちづくり事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 重要資源修景助成 ・ 市民団体運営助成 		景観まちづくり市民団体の運営、活動事業への助成を1団体に対して行った。 (30千円)		青梅駅周辺景観形成地区における良好な街なみ景観の形成、保全に寄与する、市民団体の運営、活動事業への助成により、景観まちづくりの推進が図れた。

第9章 みんなが参画し協働するまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
青梅ボランティア・市民活動センターに登録している団体数	団体	21	68	70	90
		H14年度	H24年度	R1年度	R4年度
市の審議会等における女性の参画率	%	19.7	22.2	24.4	33.3
		H20.4.1	H24.4.1	R2.4.1	R5.3.31

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 市民参画・協働			
9-1	ホームページを活用した情報発信の充実	(1)	
9-2	協働推進事業	(2)	
9-3	青梅ボランティア・市民活動センターの活動促進事業	(2)	
9-4	婚活支援事業	(2)	●
9-5	自治会加入促進事業	(3)	●
2. 人権・平和			
9-6	平和事業	(2)	
3. 男女平等参画			
9-7	男女平等参画推進事業	(1)	●

事業番号	9-1	事業名	ホームページを活用した情報発信の充実
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの管理運用等 ・ホームページシステムの更新 	<p>青梅市公式ホームページおよび青梅市教育委員会公式ホームページの再構築を実施し、令和2年1月から公開を開始した。</p> <p>(1,616千円)</p>	<p>ホームページのユーザビリティやアクセシビリティが向上し、新たにスマートフォン等への対応が実現できた。観光情報サイトや市公式キャラクターなどの専用サイトを加えることができた。</p>	

事業番号	9-2	事業名	協働推進事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・提案事業への助成 ・協働研修の実施 ・団体の組織強化 ・活動団体育成 	<p>市民提案協働事業、新任職員対象研修（協働型のまちづくりを促進するために）を実施。市民活動団体支援講座「クラウドファンディング活用講座」を実施し、21名が参加した。</p> <p>(740千円)</p>	<p>市民提案協働事業の一例として、小学校屋上のヘリサインの塗り替えを協働で行ったことにより、地域の防災意識の高揚と、安全体制の確保を図ることができた。</p>	

事業番号	9-3	事業名	青梅ボランティア・市民活動センターの活動促進事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・青梅ボランティア・市民活動センターの機能向上 	<p>広報おうめ等により、青梅ボランティア・市民活動センターの周知を図るとともに、運営費の助成を実施した。</p> <p>(18,522千円)</p>	<p>大型台風発生時において、青梅ボランティア・市民活動センターがボランティアの起点となり、市内の被災場所への派遣等支援することができた。</p>	

事業番号	9-4	事業名	婚活支援事業
令和元年度事業計画	令和元年度取組状況（事業費）	令和元年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・婚活事業への支援 	<p>結婚を希望する独身の男女を対象とする結婚支援事業を実施した団体に対し、補助を行った。</p> <p>(400千円)</p>	<p>婚活支援事業を支援することで、事業に参加した男性女性12人ずつの方々に、パートナーに出会う機会を設けることができた。</p>	

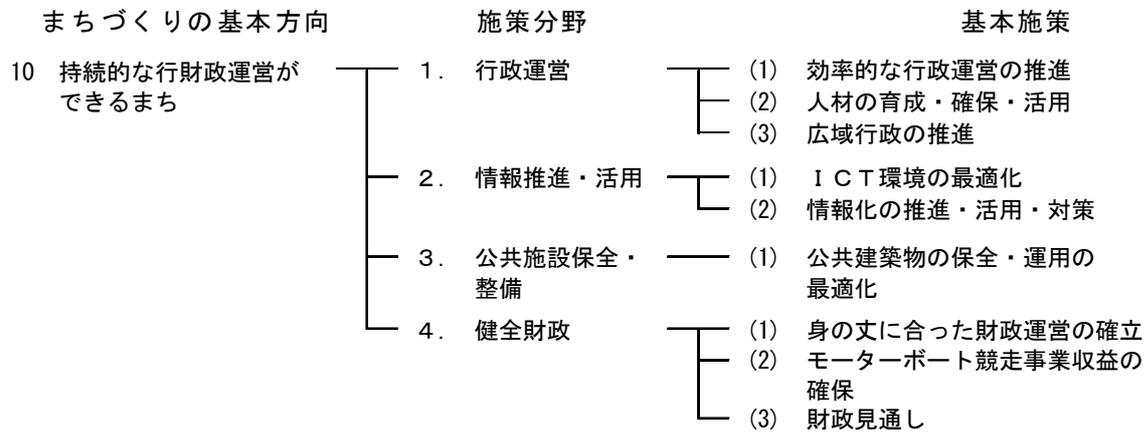
事業番号	9-5	事業名	自治会加入促進事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 自治会加入促進 自治会退会防止 負担金等の軽減 		返信ハガキ付きの自治会加入パンフレットの転入者への配布、広報おうめへの自治会活動紹介記事の掲載、集会施設用地借上料の補助、自治会ハンドブック作成等を実施した。 (1,190千円)		集会施設用地借上料補助金により、自治会の経費負担を軽減することができた。自治会ハンドブックや自治会事例集により、自治会活動について知識の向上を図った。

事業番号	9-6	事業名	平和事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 中学生をヒロシマに派遣（羽村市合同事業） 各種平和事業の推進 		羽村市との合同事業として中学生を広島に派遣し、被爆体験者との対話、平和祈念資料館等の見学および平和祈念式典へ参列をした。また、共催により原爆展・平和アニメ上映会等を実施した。（5,070千円）		両市の中学生が広島を訪問し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学習することで理解を深めることができた。原爆展等各種平和事業を通じて、広く平和思想の普及啓発を図ることができた。

事業番号	9-7	事業名	男女平等参画推進事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 講座等の実施 情報紙の作成（年2回） 懇談会の開催等 女性活躍推進事業等 		懇談会等の開催、男女平等情報紙よつばの手紙の発行および配布（自治会加入世帯、公共施設）、多様な性に関するリーフレットの配布（市民センター等、一部中学校）を実施した。 (3,845千円)		男女平等推進計画懇談会や検討委員会にて、計画の進捗よくを管理したほか、情報紙や多様な性に関するリーフレットの配布をすることで、意識啓発を図ることができた。

第 10 章 持続的な行財政運営ができるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
市役所に対する印象として、仕事が早く効率が良いと思う市民の割合*	%	20.8	22.7	25.6	50.0
		H13 年度	H23 年度	H28 年度	R3 年度
経常収支比率	%	89.3	95.8	100.2	85.0
		H14 年度	H23 年度	R1 年度	R4 年度

※平成 23 年に実施した第 28 回市政総合世論調査までは「仕事の能率が良い」という項目を参照している。

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 行政運営			
	10-1	行財政改革推進事業	(1)
2. 情報推進・活用			
	10-2	業務システムの最適化	(1)
	10-3	地域の魅力発信事業	(2) ●
3. 公共施設保全・整備			
	10-4	公共施設等マネジメント事業	(1) ●
4. 健全財政			

※公共施設等マネジメント事業(10-4)の事業費については、各施設所管課経費に含まれるため「-」で表記

事業番号	10-1	事業名	行財政改革推進事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・青梅市行財政改革推進委員会の開催（5回） ・行政評価および外部評価の実施 		青梅市行財政改革推進委員会を4回開催し、令和元年度行政評価事業のうち、2事業について、外部評価を実施し、評価結果のまとめを行った。改選期にあたり、委員の改選を実施した。 （411千円）		青梅市行財政改革推進委員会において、委員改選を行い、5名が再任、5名が新任となった後、令和元年度行政評価事業28事業のうち、2事業について、外部評価を実施し、報告書を作成した。

事業番号	10-2	事業名	業務システムの最適化	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・基幹系業務システム運用 ・各業務システム機器の統合、共有化 		基幹系業務システムの運用を行った。地域情報化アドバイザーの支援を受け、基幹系業務システム更新の準備を行った。各業務システム機器の統合機器である仮想基盤サーバの更新を行った。（203,029千円）		基幹系業務システムについて、効率的かつ安定的な運用を図ることができた。基幹系業務システム更新に向け、情報提供依頼（RFI）を行い、仕様等を作成した。仮想基盤サーバの拡充を行った。

事業番号	10-3	事業名	地域の魅力発信事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力発信の推進 ・ふるさと納税の推進 		地域の魅力発信の各種事業を推進し、篠原ともえ氏の協力で市公式キャラクターの「ゆめうめちゃん」着ぐるみを作製した。返礼品の増加および体験型サイトへの掲載などPRを行った。 （15,589千円）		着ぐるみを作製するなど、地域の魅力発信を推進した。ふるさと納税（個人）は856件、34,273千円（対前年度+2,296千円）、企業版ふるさと納税は10件、4,600千円（△100千円）となった。

事業番号	10-4	事業名	公共施設等マネジメント事業	
令和元年度事業計画		令和元年度取組状況（事業費）		令和元年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画の推進 		青梅市公共施設等総合管理計画推進本部会議を1回開催し、個別施設の今後の方向性を協議した。 （－）		文化交流センターを4月に開館した。地域保健福祉センター（沢井・小曾木）および水泳場（釜の淵・長淵）を廃止し、計画の推進を図った。橋りょう等個別施設計画を策定した。

重要業績評価指標（K P I）の進ちょく状況

重要業績評価指標(K P I)は、青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、各施策の効果を客観的に検証できる指標として、総合戦略に定めた目標値のことであります。

なお、総合戦略の計画期間は平成 27(2015)年度から令和元(2019)年度までの 5 年間となっております。

【重要業績評価指標（K P I）】

指標（K P I）	単位	総合戦略 開始時点 (基準値)	現状	数値目標
保育所待機児童数 ○	人	20	4	0
		H27. 4. 1	R2. 4. 1	R5. 4. 1
学童保育所待機児童数 ○	人	194	73	0
		H27. 4. 1	R2. 4. 1	R5. 4. 1
合計特殊出生率		1. 27	1. 08	1. 32
		H26	H30	R1
「全国学力・学習状況調査」 における各教科の平均正答率		平均を下回っている	平均を下回っている	平均を上回る
		H27年度	R1 年度	R1年度
生涯学習講座・教室受講者 数 ○	人	7, 092	3, 408	10, 000
		H26年度	R1 年度	R4 年度
企業誘致条例を活用した誘 致企業数(累計)	件	3	4	6
		H27. 4. 1	R2. 4. 1	R2. 4. 1
民営従業者数(経済センサ ス) ○	人	52, 370	47, 556	53, 000
		H24	H28	H30
青梅市中心市街地活性化交 通量調査における青梅駅周 辺の歩行者通行量	人	18, 999	18, 999	20, 000
		H24年度	H24 年度	R2年度
青梅市の認知度	%	95. 1	95. 1	100
		H27年度	H27 年度	R2年度
転入超過率		△1. 2242	△1. 0146	0以上
		H26	R1	R1
空家の活用事例数(累計)	件	1	3	10
		H26年度	R1 年度	R1年度

指標(K P I)	単位	総合戦略 開始時点 (基準値)	現状	数値目標
J R 青梅線利用者数(河辺 駅・東青梅駅・青梅駅の乗 車人員) ○	人	26,984	26,259	26,900
		H26年度	R1 年度	R1年度
自治会加入率	%	45	39.63	45%以上
		H27年度	R1 年度	R1年度
交流・連携を目的とした自 治体との協定数		10	11	11以上
		H27年度	R1 年度	R1年度

※○は、実施計画で設定したまちづくりの指標と共通の指標

施策連動型のしくみ

第6次青梅市総合長期計画では、基本構想に掲げるまちの将来像の実現に向けて、暮らしやすさの視点に立った、青梅らしさを醸し出すまちづくりを戦略的に進めるために、施策連動型のしくみ(ぷらっとフォーム)を展開していきます。

施策連動型のしくみ(ぷらっとフォーム)は、主要テーマ(安心して暮らせる青梅、子育て世代が住みたい青梅、生きる力がみなぎる青梅、みんなが誇れる青梅、何度も訪れたいくなる青梅)のもとに参画する多様な主体が目標や目的を共有し、まちづくりにおけるそれぞれの役割を認識し、水平的なつながりの中で協力・連携(施策連動)する場として機能します。

令和元年度実施計画

令和元年度 ぷらっとフォームを活用した総合長期計画、総合戦略等の推進

- 「第6次青梅市総合長期計画」、「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する様々な事業等を推進するに当たり、ぷらっとフォームの仕組みを活用し、市民をはじめ様々な主体が参画・連携・協働し、事業を推進する。
- 様々なテーマにもとづいたぷらっとカフェを開催し、多様な主体の話し合いの場でも出された意見、アイデアを事業の推進等に反映する。

令和元年度取組状況

- 産・官・学・金・労の代表からなる「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会」を開催し、第1期総合戦略および人口ビジョンの検証を行い、第2期総合戦略の策定について議論した。
- 「AIチャットボットの可能性」をテーマに、今後の取組の可能性などについてアイデアを集めるため、ぷらっとカフェの開催を企画し、募集を行ったが、参加申込者が少なく開催中止となった。新型コロナウイルス感染症の拡大により、人を集めての開催が難しくなり、開催できなかった。

令和元年度事業成果

- 多様な主体からなる「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会」を通じて様々な意見をいただくことで、第2期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定することができた。
- 新たなテーマによるぷらっとカフェの開催を企画したが、開催できなかったことで、新たな話し合いのテーマや開催方法について検討すべき課題が判明した。

**第 6 次青梅市総合長期計画実施計画
令和元年度取組状況報告書**

■発行者／青梅市

■発行日／令和 2 (2020) 年 8 月

■企画編集／青梅市企画部企画政策課

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1

TEL : 0428-22-1111 (代表)